

## 飯田市下水道事業経営戦略(令和6年度改定版)の概要

上下水道局

## 1 改定の概要

下水道事業経営戦略は、令和3年3月に策定し、3年度から 14 年度までを期間としています。その中で、3年ごと見直しを行うこととしており、5年度が1回目の見直しとなります。

ストックマネジメント計画に基づく計画的な維持管理と、激甚化する災害等に対する万全な備えと本格的な施設の改築更新を迎えるにあたって資本費平準化債や民間的経営手法の活用による補てん財源の確保を目指し、これまでの実績を踏まえ投資・財政計画(収支計画)等を見直すものです。概要は次のとおりです。

## (1)ストックマネジメント計画に基づく管渠・処理施設等の修繕・改築等の事業費の見直し。(P2)

## 【管路施設】

単位：百万円

事業内容	管渠長寿命化対策・改築(管更生)					
	第Ⅰ期				第Ⅱ期	第Ⅲ期
施工年度	R3	R4	R5	R6～7	R8～12	R13～14
R5 改定時事業費	152	77	64	153	651	173
R3 策定時事業費	117	116	134	320	1,250	640

## 【処理施設】

単位：百万円

事業内容	松尾浄化管理センター長寿命化対策・改築					
	第Ⅰ期				第Ⅱ期	第Ⅲ期
施工年度	R3	R4	R5	R6～7	R8～12	R13～14
R5 改定時事業費	17	81	427	365	1,944	1,000
R3 策定時事業費	15	184	277	672	2,500	1,000

## (2)農業集落排水事業・小規模集合排水処理事業の処理施設機能強化の施工年度、事業費の見直し。(P2)

事業内容	施工年度	R5 改定時事業費	R3 策定時事業費
立石処理施設機能強化	R4	22	0
柏原処理施設機能強化	R4～7	29	24
下虎岩処理施設機能強化	R7～10	242	105
上久堅中央処理施設機能強化	R9～11	110	99
知久平処理施設機能強化	R9～10	55	0
更生太田処理施設機能強化	R11～14	200	159

## (3)竜丘・下殿岡処理区統廃合にかかる事業費を新規に追加。(P3)

事業内容	施工年度	事業費
竜丘・下殿岡処理区統廃合接続工事	R6～7	200

## (4)防災・安全対策にかかる松尾浄化管理センター耐震化・耐水化事業費を新規に追加。(P3)

事業内容	耐震化事業				耐水化事業			
	R3	R4	R5	R6～7	R3	R4	R5	R6～10
事業費	0	0	77	94	13	1	58	61

(5)官民連携による維持管理と改築更新を一体として行う事業の導入可能性調査等を行う経費を新規に追加。

(P4)

(6)また、今後検討予定の取組として、

ア 農業集落排水施設改修時の仮設工法の最適化の研究(P18)

イ 下水処理工程の省電力化、消化ガス発電に伴い発生する廃棄熱の活用や汚泥の利活用を見据えた脱  
水汚泥の搬出方法の研究(P19)

ウ 温室効果ガス排出量または二酸化炭素排出量の削減に向けた取組。(P19)

などを予定しています。

## 2 下水道使用料の見直し方針

計画期間内は、黒字を計上でき、補てん財源を確保できる見込みであることから

『現行使用料を維持する』こととします。(P14)

## 3 将来の事業環境

排水人口      ↗ R4:79,754 人 ⇒ R14:81,451 人

非水洗化の世帯の接続を図り普及促進を進めます。(P15)

下水道使用料    ↘ R4:1,726,872 千円 ⇒ R8:1,685,934 千円 ⇒ R14:1,645,142 千円

年々減少傾向(P15)

企業債            ↘ R4:16,891,520 千円 ⇒ R8:11,269,004 千円 ⇒ R14:6,488,621 千円

借入額の平準化に伴い、着実に減少(P16)

繰入金            ↘ R4:1,534,800 千円 ⇒ R8:1,429,900 千円 ⇒ R14:642,700 千円

企業債残高減少に伴い減少(P16)

補てん財源      → R4:998,631 千円 ⇒ R8:678,656 千円 ⇒ R14:668,535 千円

計画期間内6億円程度を確保(P17)

## 4 事後検証、更新等に関する事項

PDCA サイクルによる進捗状況等の評価・検証を行ったうえで、多様化する市民ニーズや社会環境の変化等を踏まえ、決算公表後、経営戦略の収支計画との乖離や他の計画等の内容の整合を検証し、市民の代表で構成した上下水道事業運営審議会において事業内容及び計画方針の審議を行います。

飯田市下水道ビジョンとの整合を図りながら、次世代へ引き継ぐべき資産・機能・技術を整理するとともに、安全・安心で暮らし豊かなまちづくりを支える下水道を目指し3年ごとに改定します。(P20)

## 5 スケジュール

1月 23日(火) 産業建設委員会協議会

2月 6日(火) 部長会議(報告)